

## 3DCGによる『からくり装置』の再現

21111170

彩藤ゼミ 正田凱大

### ・なぜからくり装置？

卒業制作をするにあたって『日本らしいもの』をテーマにすることが、先生から提示された条件であった。

からくり人形・からくり屋敷・ピタゴラ装置など『からくり装置』は日本らしいものであると見え、からくり装置を作ることにした。

### ・なぜ3DCGと3Dプリンター？

ゼミ活動の中心が3DCGであった。自分が在学中に得た技能でどこまで出来るか形にしたいという考え。そして国内外で注目を集める3Dプリンターの可能性を、制作の過程で模索していきたいという考えから3DCGと3Dプリンターを使用することにした。

3Dプリンターとは、通常の紙に平面的に印刷するプリンターに対して、3DCAD、3DCGデータを元に立体（3次元のオブジェクト）を造形する機器を指す。

### ・進捗状況

制作した3DCGの大きさが3Dプリンターの大きさに入らないため、分割して制作するなどの工夫が必要で手間がかかったが、ほとんど完成。あとは、実際に印刷をして組み立てるだけ。

### ・今後の取り組み

動力のモーターを早く手に入れて大きさなどを確認したい。

現在、制作しているのはインターネット上にあった物なので、オリジナルでもっと複雑なからくり装置の作製に取り掛かりたい。

参考サイト

<http://ja.wikipedia.org/wiki/3D%E3%83%97%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC>